成。四月には機関新聞「民衆政論」の発行を為す
婦人部、執行、調査、委員各一名と婦人委員とによって組織されたが、大会が近づいてゐたから暫定組織たるに止めてゐる。

二、委員の異動

賀川豊彦氏（渡米）　今野賢三氏（帰省）

村島帰之氏（大阪移転）　青野季吉氏（病気中）

綱領研究報告概要

綱領の作成は尚慎重審議研究中でありまして、未だ成案として、ここに報告する域に達せないことを甚だ遺憾に思ひます。然し乍ら右の成案は別として、今調査委員会で如何なる色彩の綱領を研究しつゝあるかと云ふことは、此の大会を機会に会員諸君は勿論一般社会の最も知らんと欲するところであらうと考へます。それで、今調査委員会は、如何なる立場で綱領を研究しつゝあるかの概要を報告することに致します

綱領作成上の立場

A 日本現在の政治経済の地位に対する見解

一、経済的地位に対する見解

現在の産業の行詰り、生活難の加重は、資本主義経済に不可避なものか、一時的[illegible]不景気に主として原因するのではなくて、それ